

How to...

「地元・理工系」 地元企業から求められる 国際コミュニケーション能力を養う

福井工業大学

地元企業に就職しても、今や海外との交渉は避けられない。企業が求めるのは、専門性と国際コミュニケーション能力。地元企業の要請を受け、学生の英語力を強化する取り組みに着手した。

英語が苦手な学生に 英語の単位を倍増

本学は理工系の大学ということもあって、英語が苦手な入学者も多いのですが、独自の英語教育プログラム SPEC (Special Program for English Communication) を開始して4年目になりました。これは「話すチカラ」を重視した英語でのコミュニケーション力を強化するプログラムで、全学年でネイティブスピーカーの教員による英語コミュニケーション科目を開講しています。基本から応用へ段階的な英語力の向上を目指して、「単語」から「文」へ、「文」から「会話」へと段階的に英語で自己表現できるようにトレーニングします。SPECの導入で、学生が卒業

までに取らなければならない英語の単位数は、20単位と2倍になりました。これだけの単位数を取得させる例は、地方の理工系大学ではあまりないかもしれません。導入前は志願者数が減ることを心配しましたが、SPEC導入後も志願者数は増え続けています。大学でもしっかりと英語を学び、国際コミュニケーション能力を高めるという方針は、高校教員からの関心も高く、特に保護者からも好評です。

海外赴任を嫌がらない 人材を育成

こうした英語によるコミュニケーション能力強化の背景には、就職先である地元企業からの要望がありました。本学は、県内から

課題は 地元企業へのアピール

SPECを導入するにあたっては、教員も職員も大変でした。本学は、英語教育や国際化に特化した補助金を受けて進めているわけではなく自力で進めています。外国語学部がある大学ではありませんので、目標に向けて一つ一つ組み上げていかなければなりません。それを導入方針の決定からカリキュラム作成、人材確保、広報、そして開講までの一連の準備を1年以内で実現できた背景には、トップの決断だけでなく、学内の連携がとりやすく、小回りがきく規模ということもあるでしょう。SPEC導入後、学内の雰囲気は確実に変わってきました。学生には英語に対する苦手意識を克服し、コミュニケーションをとうとうとする意欲が確実に芽生えてきています。学生ロビーでもeラーニングで英語を学ぶ学生の姿が日常的になり、「英会話カフェ」は順番待ちの学生がいるくらい人気です。今夏、キャリア教育の一環で「海外インターンシップ」を実施しました。3年生12名が本学のASEAN事務所を拠点として福井県内企業の現地事業所5社にて

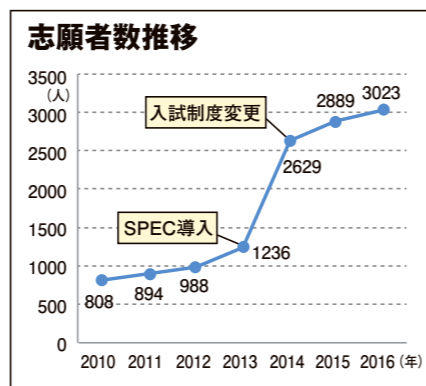


教授 池田 岳史

いけただけし ● 1994年愛知工業大学工学部卒業、1996年愛知県立芸術大学修士課程修了、2000年京都工芸繊維大学博士課程修了。2001年福井工業大学入職。2012年より環境情報学部デザイン学科教授。学長補佐として国際関係も担当し、SPEC推進を担う。

の入学者が約50%、就職先も県内企業を希望する学生が多い地域密着型の大学です。地元企業においても海外との取引が増え、国際社会で活躍できるバイタリテイのある人材が求められています。エンジニアでもビジネススマンでも、県外への転勤や海外赴任は無理...と内向きでは、企業で通用しません。学生を送り出す側として、コミュニケーション能力を備えさせることは不可欠なのです。そういった学生のマインドを変えるため、海外を身近に感じられる環境にしていこうと考えまし

た。英語が苦手であっても、理工系大学であっても、毎週ネイティブスピーカーによる英会話の授業がある。外国人教員と廊下ですれ違ったら挨拶を交わし、学内にいる96名の留学生たちと会話する。学内放送も日本語と英語のバイリンガルで行う。都市部と比較すると、地方ではまだまだ国際交流の場が少ない。ならば、大学がその場となつて、外国人とも自然体で接することで、英語コミュニケーション能力を養える環境を作っていこうとしたのです。



就業体験をしました。県内大学では初の取り組みです。学生たちのキャリア形成の動機づけ、国際感覚の養成、そして就職後の海外勤務への抵抗感を減らすことが狙いです。イギリスやオーストラリアでの語学研修や協定を結んでいるタイのNation大学との交流に参加した学生たちは、また参加したいと言ってくれています。この感覚が大きな成果だと思っています。苦労しているのは、外国人教員の確保です。地方ゆえ、人材が少ないのですが、常勤にこだわりました。学生たちに国際感覚を肌で感じてもらうには、教員が常にキャンパスにいてくれることが大切だと考えているからです。SPECの導入に関しては、高校生と高校教員、保護者など、入

成果

▶ SPEC導入後、志願者数が増加し、保護者から高い評価

課題

▶ 地元企業へのアピールがまだ不十分



福井工業大学

▶ 1965年創立 ▶ 3学部8学科。学生数は約2300人
▶ 2015年に創立50周年を迎え、工学部のほか環境情報学部、スポーツ健康科学部を新設し、3学部体制に再編

福井工業大学の4年間のグローバル人材育成計画 (SPEC)

黒字: 全員必修 青字: 希望者

		1年	2年	3年	4年	めざす人材像 「地域と世界で活躍できる人材」 ~ 海外赴任を命じられても会社を辞めない人材を育成する
語学	コミュニケーション	ベーシック コミュニケーションI・II	アドバンス コミュニケーションI・II	【テクニカル分野】 テクニカル コミュニケーションI・II 【ビジネス分野】 ビジネス コミュニケーションI・II	【テクニカル分野】 テクニカル コミュニケーションIII・IV 【ビジネス分野】 ビジネス コミュニケーションIII・IV	
	TOEIC対策	リスニングI・II	TOEIC I・II	TOEIC III・IV		
留学		海外語学研修I	海外語学研修II	海外語学研修III	海外語学研修IV	
キャリア教育				海外インターンシップ		